

2020年度（令和2年度）

学校関係者評価報告書

2020年6月

学校法人彰栄学園

彰栄保育福祉専門学校

2020年度 学校関係者評価報告書

学校法人彰栄学園 彰栄保育福祉専門学校は、2019年度の自己評価を基本とした学校関係者評価を実施いたしましたので、ここに報告します。

《本校の学校関係者評価について》

学校関係者評価は、学生・卒業生、関係業界・団体、教育業界、保護者・地域住民などを、学校自らが選任し、構成された評価委員会等が、「彰栄保育福祉専門学校 学校評価実施規程」に沿って学校が行った自己評価の結果について評価することを基本として行う評価です。

◆目的

本校の自己評価結果の客観性、透明性を高めるとともに、本校と密接に関係する学校関係者の理解促進や連携体制による学校運営の更なる改善、教育活動及び学校運営等の質の保証と向上を図ることを目的とします。

◆自己評価・学校関係者評価の対象期間

2019年度（2019年4月1日～2020年3月31日）

◆学校関係者評価委員会の委員構成

氏名	所属	選任区分
鈴木 一伸	二ツ橋あいりん幼稚園 副園長	企業関係者
山本 慎介	わかたけかなえ保育園 園長 / 東京男性保育者連絡会 事務局 長	業界団体関係者
児島 康夫	キングス・ガーデン埼玉 理事	企業関係者
日比 曉美	白ばら学園第2こどもの家 副園長	教育関係者
津村 利治	彰栄保育福祉専門学校 同窓会	卒業生

◆学校関係者評価委員会の開催状況

第1回委員会 2020年5月9日（会場 彰栄保育福祉専門学校）

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、郵送などでのやり取りにて開催

【内容】

- ・2019年度自己評価に基づいた学校関係者評価（評価アンケートに基づく）
- ・各基準における平均点の確認
- ・学校関係者評価の確認、意見、改善点の取りまとめ など

◆学校関係者評価基準

- ①自己評価結果の内容は、適切か。
- ②自己評価結果を踏まえた今後の改善方策は、適切か。
- ③学校の重点目標や評価項目等は、適切か

◆評価点の点数の区分

- 4点：適切（な自己評価、に実施） 3点：概ね適切（な自己評価、に実施）
2点：やや不適切（な自己評価、に実施） 1点：不適切（な自己評価、に実施）

◆評価項目の状況

評価項目 基準1～10までの各委員からの評価の平均値及び意見、改善点などのコメントは次の通り

【基準1】教育理念、目的、人材育成像

評価項目	評価の平均値
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	3.8
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界などの人材ニーズに適合しているか	3.8
1-1-3 理念などの達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	3.8
1-1-4 社会のニーズなどを踏まえた将来構想を抱いているか	3.6

【意見・改善点など】

- ・課題と解決方法により具体的な文章がほしい。
- ・将来構想は、広く情報を収集し、若い世代の教職員の意見も採り入れながら作り上げてください。
- ・キリスト教精神に基づく「愛と奉仕」を建学の精神とされ、「学生一人ひとりに寄り添う教育」を教育の柱とされていることに感銘を受けました。

【基準2】 学校運営

評価項目	評価の平均値
2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	3.6
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	3.4
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	3.2
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	3.4
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	3.2
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	3.6
2-7-1 情報システム化に取り組み、業務の効率化を図っているか	3.4

【意見・改善点など】

- ・理事会・評議員会・教職員会相互の意思交流を盛んにし、より活気のある運営を目指してください。
- ・近年の「働き方改革」と理念である「愛と奉仕」との整合性について検討いただきたい。
- ・“やや不適切”としている理由は、これらに関しての情報がないため判断しかねるという意図がある。
- ・表記の「特になし」というのは、良い印象を受けない。

【基準3】教育活動

評価項目	評価の平均値
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	3.8
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	3.8
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	3.8
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	3.8
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	3.4
3-9-4 授業評価を実施しているか	2.4
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	3.6
3-10-2 作品及び技術などの発表における成果を把握しているか	3.8
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	4
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	3.8
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	3.6
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	3.4
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	3.4

【意見・改善点など】

- ・「特になし」という記載は、やはり気になる。まだ空欄のほうが良いと思うが、文字として埋めなければならないのか。
- ・3-9-4「～実施しているか」という小項目に対し、「実施していない」は適切ではないと考える。
- ・教員の資質向上のためには、組織体制は重要。更なる整備が必要と考える。
- ・学園祭（わらし祭）等の催しを通し学生の自主性・創意を引き出し、個性を伸ばす教育活動が行われているようです。
- ・伝統ある表現研究所の活動も教育レベル向上に寄与していると思います。
- ・授業評価は、学生さんからの要望をとりまとめて改善を図られておられるとのこと、それこそ授業評価だと思います。

【基準4】学修成果

評価項目	評価の平均値
4-13-1 就職率の向上が図られているか	4
4-14-1 資格・免許の取得率の向上が図られているか	3.8
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	3.4

【意見・改善点など】

- ・就職後の離職率なども踏まえた就職先の斡旋や学生への助言指導が人材を守ることに直結すると強く思います。
- ・教育実習の現場巡回指導を熱心になさる教員の姿は、就職率の向上につながっていると思います。また卒業生の就業先での活躍も学校の評判を高めているようです。
- ・幼児教育・保育の世界では、男性保育士は絶対数が少ないこともあり、存在意義は大きいと思いますが、多くが活躍されているとのこと、すばらしいですね。絵本作家、歌の指導者もおられるようですが、男性女性に限らず、そうした先輩を目指して、それぞれが自分の得意領域を見つけて伸ばしていかれますと、学生生活も豊かになるのではないのでしょうか。

【基準5】学生支援

評価項目	評価の平均値
5-16-1 就職など進路に関する支援組織体制を整備しているか	3.6
5-17-1 退学率の低減が図られているか	4
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	3.6
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	3.6
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	3.8
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	3.8
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	3
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	3.2
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	3

5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	3.2
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	2.8
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	3

【意見・改善点など】

- ・退学率低減のための努力は会議の中で行き届いた説明を受けている。学生のメンタル面のサポート体制は良い形で実現されていると考える。
- ・学生寮や課外活動の活動場所という点では、更なる整備を期待するが都内では難しいと考える。
- ・支援事業は、いずれも大切ではあるが、教職員の体制に見合った範囲にとどめておくことも大切であると思います。
- ・表現研究所主催の卒業生を対象とする研修会には、卒業生が積極的に参加し、講演なども行い成長した姿を見ることが出来る。多くの卒業生が心のふるさとのように思ってくれるのは、やはり良い学校なのだと思う。
- ・退学は、本人にとっても、学校や社会にとっても大きな損失です。私の経験から申しますと箱庭療法のような非言語的療法により、問題を乗り越えた学生が数名いました。言葉にできない無意識レベルのこと（自分で気づかないこと）が原因だったようです。
- ・彰栄奨学金制度を創設されて学生支援を行っておられること、うらやましいです。

【基準6】教育環境

評価項目	評価の平均値
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具などを整備しているか	3.4
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修などの実施体制を整備しているか	3.4
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	3.2
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	3.2

【意見・改善点など】

- ・古い校舎で防災環境が十分とは言えないが、レトロな建物はそれなりの風格があり、落ち着いた教育環境とも言える。
- ・海外研修は実施を求められているのか。
- ・防災、安全管理に関しては「十分とは言えない」という記述があるが、早急な整備を要する分野と考える

【基準7】学生の募集と受入

評価項目	評価の平均値
7-25-1 高等学校など接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	3.6
7-25-2 学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	3.4
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	3.8
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善などに活用しているか	3.6
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	3.6
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料などについて、適正な取扱を行っているか	4

【意見・改善点など】

- ・スマホやPCを利用した学校PRの拡充とともに、情報機器を通して双方向で可能な催しなどの検討は始めても良いように思う。
- ・養成校の増加、少子化、不況など学生募集に関しては、厳しい環境があり、効果的な手法と問われても解はないように思います。
- ・ホームページ（スマートフォン版）もようやく整えつつあり、学校案内も最近の若い世代の感覚に（上品さを失わない程度に）改善されてきている。
- ・オープンキャンパス、入試説明会等も着実にしている。

【基準8】財務

評価項目	評価の平均値
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	2.6
8-28-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	3.6
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	3.4
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	3.4
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	4
8-31-1 私立学校法に基づく財務公開体制を整備し、適切に運用しているか	3.8

【意見・改善点など】

- ・ 少子高齢化社会のニーズに見合った保育福祉の人材養成機関への財務基盤援助はもっと国が補うべきである。
- ・ 将来、福祉職をめざす人材が減少している実態は、一学校法人の努力では、負いきれない問題である。
- ・ 人件費率の改善が課題とされているが、「人が人を育てる」という基本事項は守っていただきたいと思います。

【基準 9】 法令等の遵守

評価項目	評価の平均値
9-32-1 法令や専修学校設置基準などを遵守し、適正な学校運営を行っているか	3.8
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	3.6
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	3.8
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	3.8
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	3.8
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	4
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	3.6

【意見・改善点など】

- ・規定及びガイドラインに従って行っている。

【基準 10】 社会貢献、地域貢献、国際交流

評価項目	評価の平均値
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.2
10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	3.2
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	3.2

【意見・改善点など】

- ・まだ少数ではあるが、外国人留学生を受け入れ丁寧な指導を行っている。しかし、言葉の壁は厚く、専門用語が多い資格試験には難儀している。国による言語習得機関の応援が必要と思われる。
- ・ボランティア活動に関しては、発起から実施までのハードルが高くないことが望ましい。気軽な活動ができるよう支援体制を整えてほしい。

以上

学校法人 彰栄学園

彰栄保育福祉専門学校

〒112-0001 東京都文京区白山 4-14-15

TEL 03-3941-2613 FAX 03-3946-4710

<https://www.shoei.ac.jp/>